

米の基本指針（案）に関する主なデータ等

令和4年7月
農林水産省農産局

目 次

○ 令和3／4年及び令和4／5年の主食用米等の需給見通し（令和4年3月公表基本指針）	2
○ 米の販売数量及び民間在庫の推移（令和4年6月）	3
○ 産地別民間在庫の状況（令和4年6月）	4
○ 相対取引価格の推移（平成22年産～令和3年産）	5
○ 相対取引契約数量の推移	6
○ 令和3年産米の相対取引価格（令和4年6月までの年産平均価格）	7
○ 令和2・3年産米のスポット価格の推移（令和4年7月25日時点）	8
○ ふるさと納税返礼品用販売数量及びインターネット等通信販売数量の状況について	9
○ 水田における作付意向について（令和4年産第3回中間的取組状況（令和4年6月末時点））	10
○ コメ・コメ加工品の輸出実績	13
○ 商業用のコメの輸出数量及び輸出金額の推移	14
○ パックご飯・米菓・日本酒の輸出実績の推移	15
○ 令和2年産米・3年産米の保管料等支援のイメージ	16
○ 政府備蓄米の運営について	17
○ 令和4年産備蓄米の政府買入入札の結果	18
○ MA米の輸入状況	19
○ 令和3年度SBS米の輸入状況	20
○ TPP11におけるコメの豪州枠の運用	21
○ 水田活用の直接支払交付金	22
○ 令和4年度における水田活用の直接支払交付金の拡充・見直し全体像	23
○ 水田活用の直接支払交付金の交付対象水田の見直しについて	24
○ 令和4年産米の需要に応じた生産・販売の推進状況	25
○ 交付対象水田に係る課題の把握・検証について	26
○ 水田活用の直接支払交付金に係る現場の課題・影響（中間取りまとめ）	27

令和3/4年及び令和4/5年の主食用米等の需給見通し(令和4年3月公表 基本指針)

【令和3/4年の主食用米等の需給見通し】

(単位: 万トン)		
令和3年6月末民間在庫量	A	218
令和3年産主食用米等生産量	B	701
令和3/4年主食用米等供給量計 C=A+B		919
令和3/4年主食用米等需要量	D	702 ~ 706
令和4年6月末民間在庫量 E=C-D		213 ~ 217

令和2年産米の15万トンについてコロナ影響緩和特別対策(特別枠)に取り組む場合の見通し

→ 平年作: 696万ト

---▶ 904 <<15>>

---▶ 198~202 <<15>>

▲21万トン
(▲3.9万ha)

【令和4/5年の主食用米等の需給見通し】

(単位: 万トン)		
令和4年6月末民間在庫量	E	213 ~ 217
令和4年産主食用米等生産量	F	675
令和4/5年主食用米等供給量計 G=E+F		888 ~ 892
令和4/5年主食用米等需要量	H	692
令和5年6月末民間在庫量 I=G-H		196 ~ 200

---▶ 198~202 <<15>>

---▶ 873~877 <<15>>

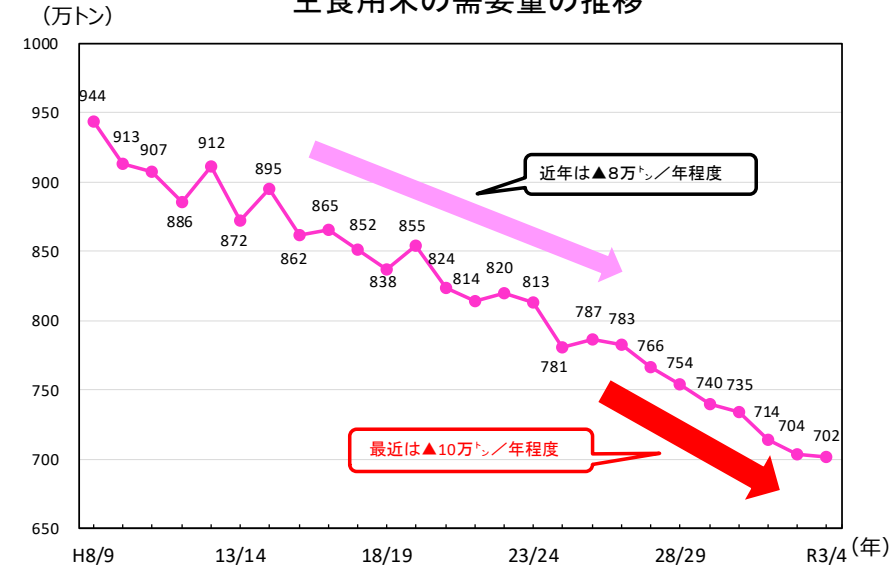
---▶ 181~185 <<15>>

注1: 欄外の記載は、令和2年産米の15万トンについて、コロナ影響緩和特別対策(特別枠)に取り組む場合の見通し。

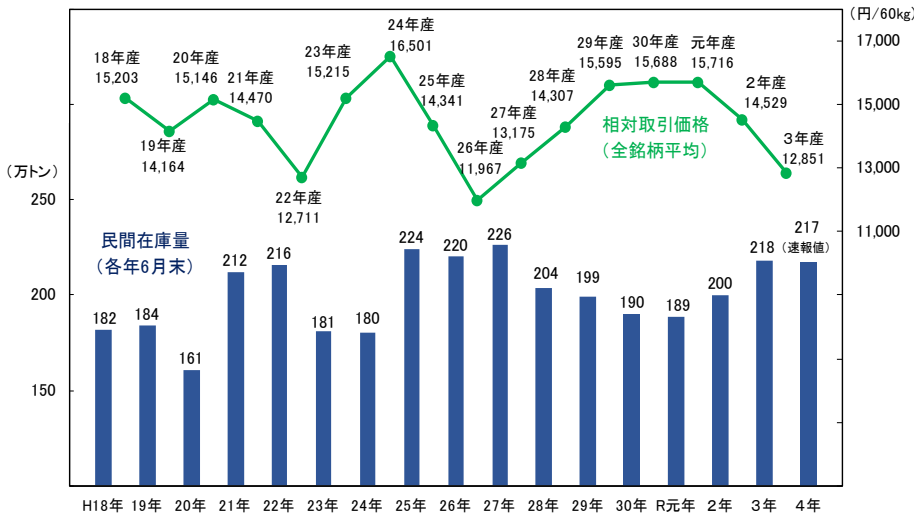
注2: 主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向、コロナ影響緩和特別対策(特別枠)の販売・提供動向等によって、今後、変動する可能性がある。

注3: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

主食用米の需要量の推移



相対取引価格と民間在庫量の推移



注: 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月(3年産は令和4年6月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている(3年産は速報値)。

米の販売数量及び民間在庫の推移(令和4年6月)

- 主食用米の需要が1人当たりの消費量や人口減少等の影響により毎年約10万ト(約1.4%)程度減少すると見込まれる中、直近1年間(令和3年1月~12月)の対前年比は、小売事業者向けに▲3%、中食・外食事業者向けは+2%となっており、販売数量の計では▲1%となっている。
- 令和4年6月末現在の全国の民間在庫は、出荷・販売段階の計で対前年同月比▲1万トンの172万トンとなっており、出荷段階は対前年同月比+7万トンの139万トン、販売段階は対前年同月比▲8万トンの32万トン

【米穀販売事業者における販売数量の動向(前年同月比)】

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	3年1月 ~12月計	4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
小売事業者向け	107%	96%	84%	92%	108%	99%	99%	101%	100%	96%	98%	95%	97%	97%	95%	99%	99%	97%	100%
(※令和元年との比較)	(108%)	(107%)	(104%)	(101%)	(103%)	(102%)	(102%)	(106%)	(101%)	(99%)	(99%)	(102%)	(103%)	(105%)	(102%)	(103%)	(100%)	(101%)	(102%)
中食・外食事業者等向け	87%	88%	103%	121%	115%	104%	105%	100%	102%	100%	103%	103%	102%	105%	101%	101%	103%	106%	104%
(※令和元年との比較)	(86%)	(87%)	(91%)	(91%)	(87%)	(92%)	(91%)	(85%)	(90%)	(91%)	(94%)	(95%)	(90%)	(90%)	(88%)	(92%)	(94%)	(93%)	(96%)
販売数量計	97%	92%	91%	102%	111%	101%	102%	101%	101%	98%	100%	99%	99%	101%	98%	100%	101%	101%	102%
(※令和元年との比較)	(97%)	(98%)	(98%)	(96%)	(96%)	(98%)	(97%)	(96%)	(96%)	(96%)	(97%)	(99%)	(97%)	(97%)	(95%)	(98%)	(97%)	(97%)	(99%)

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注1:報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者(年間取扱数量約150万ト(令和3年産主食用米等の生産量701万トの約2割))である。
2:上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。
3:速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。
4:令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年(4月までは平成31年)の同月との比較をした値を記載。

【購入数量の推移(家計調査)】

	3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(単位:Kg、%)				
購入数量	3.92	4.12	4.99	4.81	4.88	4.73	4.32	5.09	6.26	7.42	5.12	5.22	4年 1月	2月	3月	4月	5月
前年比	111.4%	89.6%	90.1%	88.4%	95.5%	95.7%	88.2%	100.6%	88.9%	96.2%	97.5%	95.3%	3.95	4.14	4.65	4.54	4.38
													100.8%	100.5%	93.2%	94.4%	89.8%

資料:総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

【民間在庫量の推移(出荷+販売段階)】

		当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	(単位:万玄米トン)			
2/3年	出荷+販売段階	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173				
	出荷段階	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132				
	販売段階	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41				
3/4年	出荷+販売段階	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172				
	対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1				
	出荷段階	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139				
	対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7				
	販売段階	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32				
	対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8				

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注:1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。
2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。
3 期間については、3/4年であれば、令和3年7月~4年6月である。

産地別民間在庫の状況(令和4年6月)

(単位:千玄米トン)

	3年 5月 ① (千玄米トン)	3年 6月 ② (千玄米トン)	4年 5月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=④/① (%)	4年 6月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑧=⑦/② (%)
北海道	234.8	200.4	234.9	+ 0.1	+ 0.1%	196.0	▲ 4.5	▲ 2.2%
青森	110.1	101.1	89.5	▲ 20.6	▲ 18.7%	76.8	▲ 24.3	▲ 24.1%
岩手	96.4	90.5	107.8	+ 11.4	+ 11.8%	94.0	+ 3.5	+ 3.9%
宮城	142.8	135.9	144.2	+ 1.4	+ 1.0%	126.2	▲ 9.7	▲ 7.1%
秋田	149.7	128.8	163.7	+ 14.0	+ 9.3%	136.0	+ 7.2	+ 5.6%
山形	130.0	109.7	124.7	▲ 5.3	▲ 4.1%	107.3	▲ 2.4	▲ 2.2%
福島	128.6	114.3	109.3	▲ 19.3	▲ 15.0%	94.4	▲ 19.9	▲ 17.4%
茨城	70.4	58.3	72.3	+ 2.0	+ 2.8%	59.9	+ 1.6	+ 2.8%
栃木	124.3	115.0	134.4	+ 10.2	+ 8.2%	116.6	+ 1.6	+ 1.4%
群馬	13.3	12.1	13.6	+ 0.3	+ 2.1%	11.5	▲ 0.6	▲ 5.0%
埼玉	23.6	21.2	23.3	▲ 0.2	▲ 1.0%	19.3	▲ 1.9	▲ 8.8%
千葉	58.7	47.1	44.2	▲ 14.5	▲ 24.7%	30.1	▲ 17.0	▲ 36.2%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.9	0.6	1.0	+ 0.1	+ 17.0%	0.8	+ 0.1	+ 21.7%
山梨	2.8	2.3	2.4	▲ 0.4	▲ 14.1%	2.0	▲ 0.3	▲ 11.4%
長野	41.9	39.7	43.8	+ 1.8	+ 4.4%	38.2	▲ 1.5	▲ 3.8%
静岡	6.4	4.5	7.6	+ 1.3	+ 20.1%	5.7	+ 1.2	+ 26.6%
新潟	145.2	125.2	131.1	▲ 14.2	▲ 9.8%	106.9	▲ 18.2	▲ 14.6%
富山	56.6	46.5	51.7	▲ 4.8	▲ 8.5%	39.0	▲ 7.5	▲ 16.1%
石川	37.9	31.8	38.7	+ 0.8	+ 2.0%	31.9	+ 0.1	+ 0.3%
福井	33.1	27.3	31.7	▲ 1.4	▲ 4.3%	26.0	▲ 1.3	▲ 4.6%
岐阜	16.5	13.9	19.9	+ 3.4	+ 20.4%	17.3	+ 3.4	+ 24.5%
愛知	19.4	15.6	20.8	+ 1.4	+ 7.2%	16.6	+ 1.1	+ 6.8%
三重	17.1	13.9	21.0	+ 3.9	+ 22.8%	15.8	+ 1.9	+ 13.5%

	3年 5月 ① (千玄米トン)	3年 6月 ② (千玄米トン)	4年 5月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=④/① (%)	4年 6月 ⑥ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑦=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑧=⑦/② (%)
滋賀	34.6	29.0	36.3	+ 1.7	+ 4.8%	29.5	+ 0.5	+ 1.7%
京都	7.7	6.6	5.9	▲ 1.9	▲ 24.3%	4.6	▲ 2.1	▲ 31.0%
大阪	0.5	0.3	0.9	+ 0.4	+ 77.1%	0.7	+ 0.4	+ 115.5%
兵庫	25.4	23.3	26.6	+ 1.2	+ 4.7%	22.9	▲ 0.4	▲ 1.7%
奈良	4.2	3.5	6.0	+ 1.9	+ 44.7%	5.2	+ 1.7	+ 48.3%
和歌山	0.7	0.6	0.9	+ 0.3	+ 38.3%	0.9	+ 0.3	+ 44.8%
鳥取	18.1	17.0	21.3	+ 3.2	+ 17.9%	18.0	+ 1.0	+ 6.1%
島根	16.1	12.9	19.2	+ 3.1	+ 19.5%	15.0	+ 2.1	+ 15.9%
岡山	30.2	24.9	29.0	▲ 1.2	▲ 3.8%	23.8	▲ 1.1	▲ 4.6%
広島	19.9	16.6	24.2	+ 4.3	+ 21.8%	20.5	+ 3.9	+ 23.3%
山口	9.5	7.8	21.5	+ 12.1	+ 127.3%	18.9	+ 11.1	+ 143.2%
徳島	6.2	4.7	5.1	▲ 1.2	▲ 18.8%	3.5	▲ 1.2	▲ 25.5%
香川	11.2	9.5	11.8	+ 0.6	+ 5.7%	10.3	+ 0.8	+ 8.8%
愛媛	4.7	3.7	7.2	+ 2.4	+ 51.5%	6.0	+ 2.3	+ 60.9%
高知	4.1	3.2	5.0	+ 0.9	+ 22.3%	4.1	+ 0.9	+ 29.5%
福岡	24.0	18.6	42.5	+ 18.5	+ 77.0%	35.4	+ 16.8	+ 90.4%
佐賀	15.1	11.8	23.6	+ 8.4	+ 55.5%	20.5	+ 8.7	+ 73.6%
長崎	3.8	3.1	7.2	+ 3.4	+ 89.3%	6.2	+ 3.1	+ 100.6%
熊本	25.6	21.3	29.8	+ 4.3	+ 16.7%	25.4	+ 4.1	+ 19.1%
大分	6.6	5.5	13.1	+ 6.5	+ 99.8%	11.4	+ 5.9	+ 107.1%
宮崎	4.5	3.5	9.3	+ 4.7	+ 103.8%	7.8	+ 4.3	+ 124.7%
鹿児島	11.0	9.7	14.9	+ 3.9	+ 35.5%	13.5	+ 3.8	+ 39.7%
沖縄	0.0	0.4	0.1	+ 0.1	+ 1,081.0%	0.4	+ 0.0	+ 3.4%
全国	199万ト	173万ト	204万ト	+ 5万ト	+ 2.5%	172万ト	▲1万ト	▲ 0.8%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

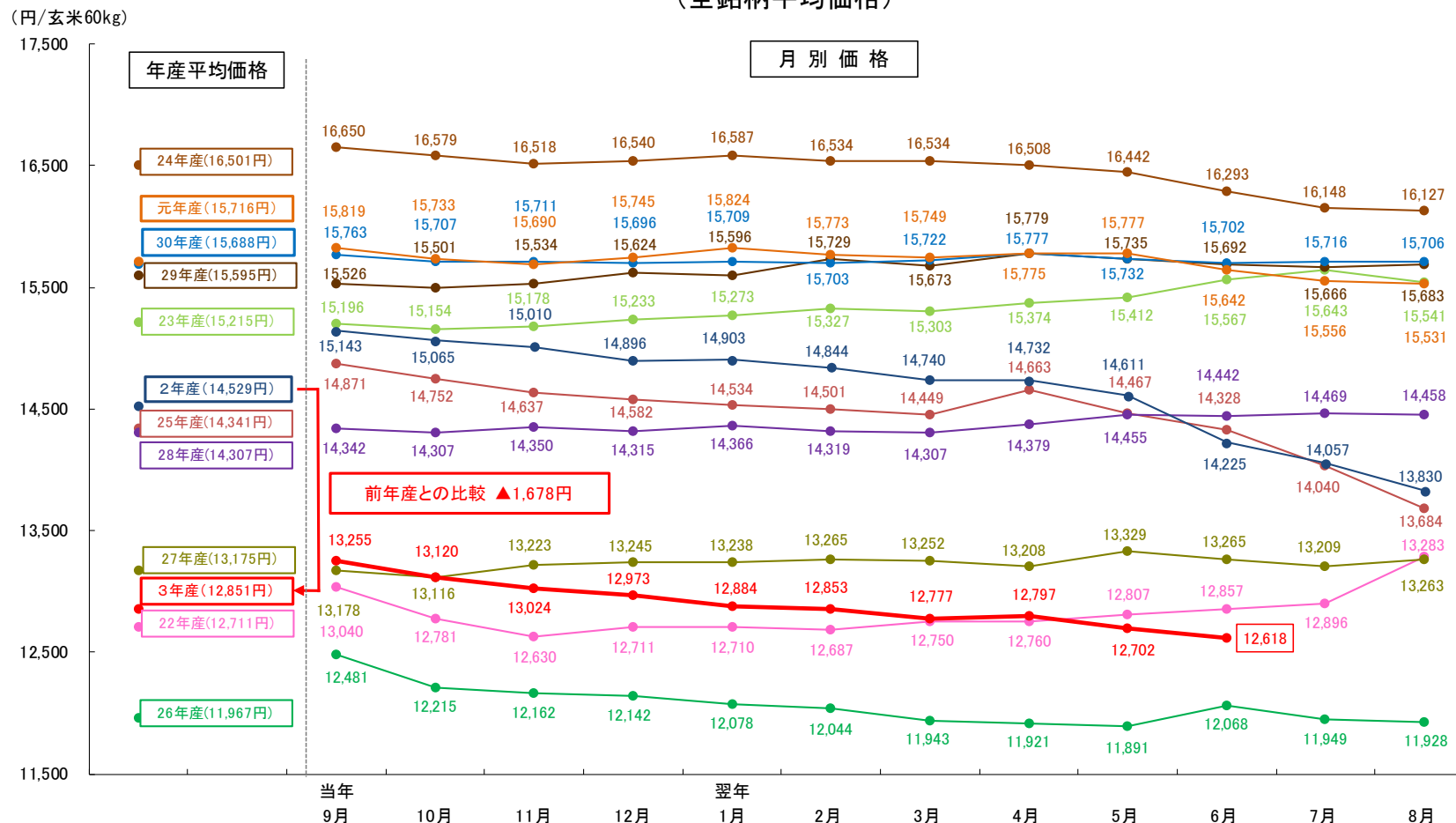
注:1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。

2 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

相対取引価格の推移(平成22年産～令和3年産)

○ 令和3年産米の令和4年6月の相対取引価格は、全銘柄平均で前月差▲84円の12,618円/60kgとなり、出回りからの年産平均価格は前年産▲1,678円の12,851円/60kgとなったところ。

相対取引価格の推移(税込)
(全銘柄平均価格)



資料：農林水産省調べ

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%)を含む1等米の価格である。

2：グラフの左側は各年産の通年平均価格(当該年産の出回りから翌年10月(3年産は令和4年6月)まで、3年産は速報値)、右側は月ごとの価格の推移。

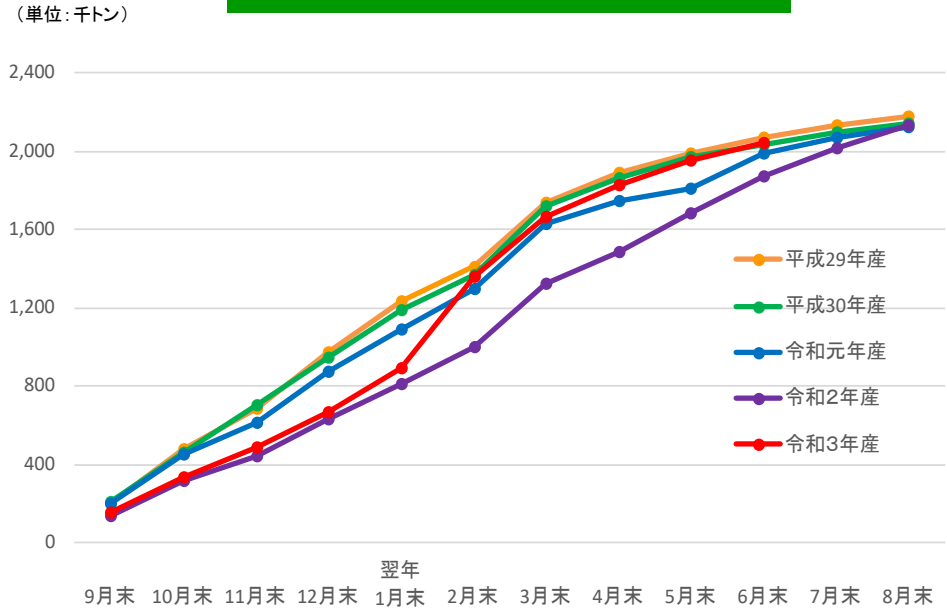
相対取引契約数量の推移

○ 令和3年産米の令和4年6月の相対取引契約数量は、9.2万トンとなり、出回りからの契約数量は前年同期差＋17.7万トンの204.4万トンとなったところ。

相対取引契約の月別数量



相対取引契約の月末累積数量



年産	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
平成29年産	158	273	209	293	258	183	320	150	103	79	59	53	37	22	2,241
平成30年産	140	258	236	247	240	187	343	147	105	70	61	44	33	19	2,193
令和元年産	145	254	164	257	221	207	334	117	61	183	76	55	41	27	2,191
令和2年産	110	175	125	188	187	183	328	164	194	185	152	109	92	47	2,267
令和3年産	129	182	146	179	231	461	314	159	125	92					

年産	9月末	10月末	11月末	12月末	翌年 1月末	2月末	3月末	4月末	5月末	6月末	7月末	8月末
平成29年産	201	474	683	975	1,234	1,417	1,737	1,887	1,990	2,070	2,128	2,181
平成30年産	204	461	698	945	1,184	1,372	1,715	1,862	1,967	2,036	2,097	2,141
令和元年産	195	450	614	870	1,091	1,298	1,631	1,748	1,809	1,991	2,068	2,123
令和2年産	138	314	438	627	814	997	1,325	1,489	1,683	1,867	2,019	2,128
令和3年産	155	337	483	663	894	1,354	1,669	1,828	1,953	2,044		

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
2 相対取引契約数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計（3年産は速報値）であり、公表後の契約変更等を含む。
3 相対取引契約数量の月別数量の合計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

令和3年産米の相対取引価格(令和4年6月までの年産平均価格)

(単位: 円/玄米60kg (税込))

産地品種銘柄		令和3年産 〔出回り～ 4年6月〕	令和2年産 〔出回り～ 3年10月〕	価格差 ①－②
①	②	①	②	①－②
北海道	ななつぼし	12,655	14,382	▲ 1,727
北海道	ゆめぴりか	15,896	16,945	▲ 1,049
北海道	きらら397	11,914	13,379	▲ 1,465
青森	まっしぐら	10,841	12,677	▲ 1,836
青森	つがるロマン	11,382	13,374	▲ 1,992
岩手	ひとめぼれ	12,213	14,381	▲ 2,168
岩手	あきたこまち	11,868	13,323	▲ 1,455
岩手	銀河のしずく	13,535	15,319	▲ 1,784
宮城	ひとめぼれ	12,848	14,094	▲ 1,246
宮城	つや姫	12,803	14,466	▲ 1,663
宮城	ササニシキ	12,593	13,748	▲ 1,155
秋田	あきたこまち	12,821	14,453	▲ 1,632
秋田	めんこいな	11,716	13,096	▲ 1,380
秋田	ひとめぼれ	11,770	13,280	▲ 1,510
山形	はえぬき	12,074	13,968	▲ 1,894
山形	つや姫	18,464	18,537	▲ 73
山形	雪若丸	12,924	-	-
福島	コシヒカリ(中通り)	11,038	13,245	▲ 2,207
福島	コシヒカリ(会津)	14,110	14,929	▲ 819
福島	コシヒカリ(浜通り)	11,716	13,720	▲ 2,004
福島	ひとめぼれ	11,086	13,081	▲ 1,995
福島	天のつぶ	11,087	12,429	▲ 1,342
茨城	コシヒカリ	11,434	13,324	▲ 1,890
茨城	あきたこまち	11,240	13,564	▲ 2,324
茨城	あさひの夢	11,761	12,737	▲ 976
栃木	コシヒカリ	11,993	13,665	▲ 1,672
栃木	あさひの夢	10,943	12,507	▲ 1,564
栃木	とちぎの星	10,612	12,164	▲ 1,552
群馬	あさひの夢	10,637	12,387	▲ 1,750
群馬	ゆめまつり	10,573	12,024	▲ 1,451
埼玉	彩のかがやき	10,982	11,797	▲ 815
埼玉	彩のきずな	10,969	11,986	▲ 1,017
埼玉	コシヒカリ	11,244	12,490	▲ 1,246
千葉	コシヒカリ	11,408	13,523	▲ 2,115
千葉	ふさががね	10,198	13,086	▲ 2,888
千葉	ふさおとめ	10,622	13,364	▲ 2,742
山梨	コシヒカリ	17,808	18,259	▲ 451
長野	コシヒカリ	13,894	14,964	▲ 1,070
長野	あきたこまち	13,457	14,871	▲ 1,414
静岡	コシヒカリ	14,424	15,531	▲ 1,107

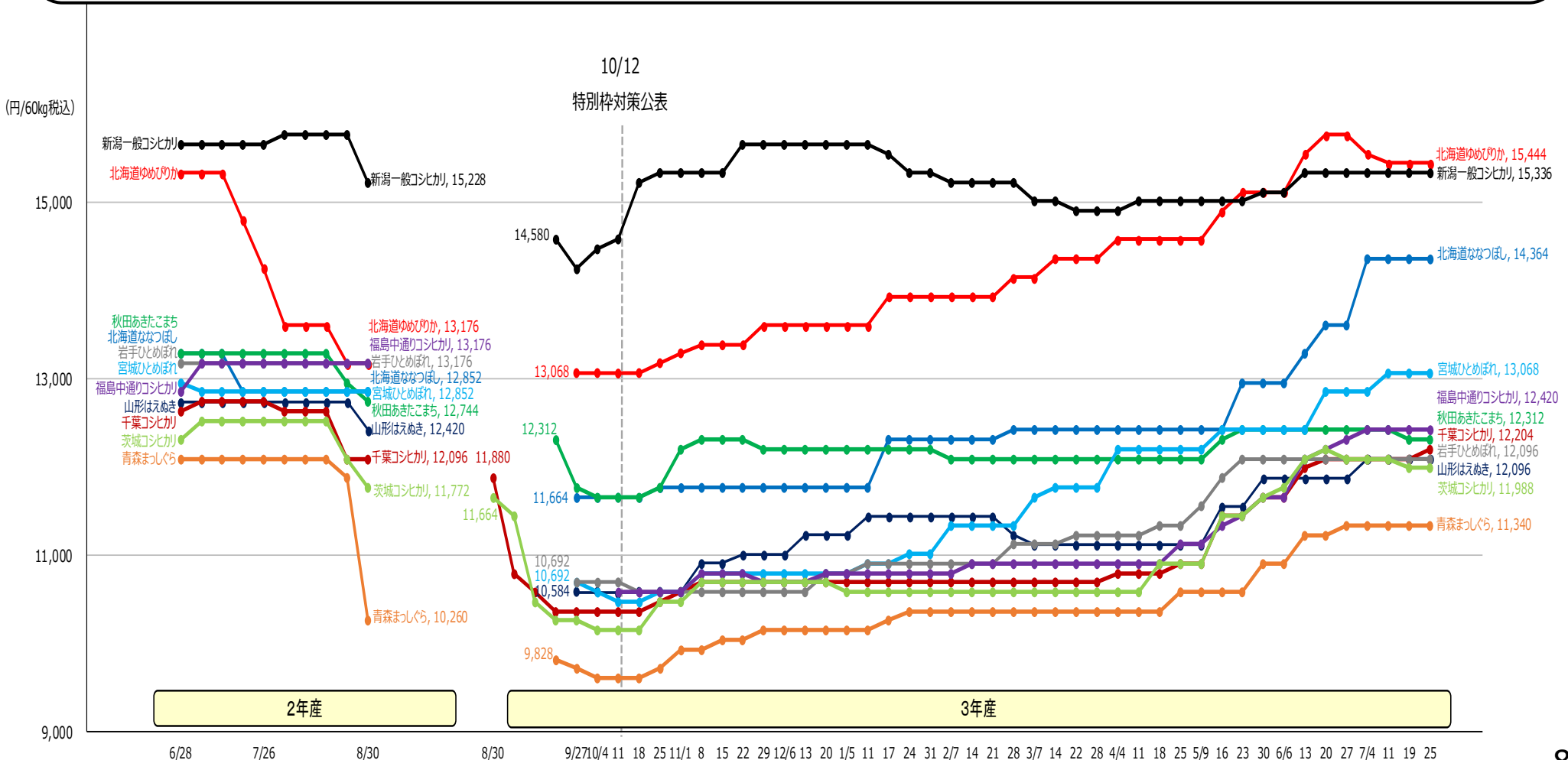
産地品種銘柄		令和3年産 〔出回り～ 4年6月〕	令和2年産 〔出回り～ 3年10月〕	価格差 ①－②
①	②	①	②	①－②
静岡	きぬむすめ	12,342	14,776	▲ 2,434
静岡	あいちのかおり	12,586	14,726	▲ 2,140
新潟	コシヒカリ(一般)	15,593	16,490	▲ 897
新潟	コシヒカリ(魚沼)	20,390	20,336	+ 54
新潟	コシヒカリ(佐渡)	16,180	17,072	▲ 892
新潟	コシヒカリ(岩船)	16,055	16,969	▲ 914
新潟	こしいぶき	12,584	14,297	▲ 1,713
富山	コシヒカリ	13,773	15,452	▲ 1,679
富山	てんたかく	12,372	14,462	▲ 2,090
石川	コシヒカリ	13,134	14,596	▲ 1,462
石川	ゆめみづほ	11,495	13,743	▲ 2,248
福井	コシヒカリ	13,490	15,602	▲ 2,112
福井	ハナエチゼン	11,259	14,365	▲ 3,106
福井	あきさかり	11,570	14,215	▲ 2,645
岐阜	ハツシモ	12,607	14,943	▲ 2,336
岐阜	コシヒカリ	14,064	15,250	▲ 1,186
岐阜	あさひの夢	10,990	13,573	▲ 2,583
愛知	あいちのかおり	12,071	13,685	▲ 1,614
愛知	コシヒカリ	12,716	14,785	▲ 2,069
愛知	大地の風	11,570	14,024	▲ 2,454
三重	コシヒカリ(一般)	12,474	14,861	▲ 2,387
三重	コシヒカリ(伊賀)	13,041	15,361	▲ 2,320
三重	キヌヒカリ	10,907	13,960	▲ 3,053
滋賀	コシヒカリ	13,653	15,258	▲ 1,605
滋賀	キヌヒカリ	11,786	14,202	▲ 2,416
滋賀	みずかがみ	13,323	15,117	▲ 1,794
京都	コシヒカリ	13,705	15,763	▲ 2,058
京都	キヌヒカリ	12,508	14,817	▲ 2,309
京都	ヒノヒカリ	15,281	16,212	▲ 931
兵庫	コシヒカリ	13,860	15,434	▲ 1,574
兵庫	ヒノヒカリ	11,788	13,804	▲ 2,016
兵庫	キヌヒカリ	11,803	13,976	▲ 2,173
奈良	ヒノヒカリ	12,660	14,630	▲ 1,970
鳥取	きぬむすめ	12,068	14,230	▲ 2,162
鳥取	コシヒカリ	12,926	14,947	▲ 2,021
鳥取	ひとめぼれ	12,194	13,978	▲ 1,784
島根	コシヒカリ	13,473	15,397	▲ 1,924
島根	きぬむすめ	12,363	14,500	▲ 2,137
島根	つや姫	13,097	15,234	▲ 2,137
岡山	アケボノ	10,788	13,238	▲ 2,450

産地品種銘柄		令和3年産 〔出回り～ 4年6月〕	令和2年産 〔出回り～ 3年10月〕	価格差 ①－②
①	②	①	②	①－②
岡山	コシヒカリ	12,543	-	-
岡山	きぬむすめ	11,531	14,452	▲ 2,921
広島	コシヒカリ	13,506	14,965	▲ 1,459
広島	あきさかり	12,587	13,988	▲ 1,401
広島	あきろまん	12,912	14,146	▲ 1,234
山口	コシヒカリ	13,318	15,215	▲ 1,897
山口	ひとめぼれ	12,252	14,484	▲ 2,232
山口	ヒノヒカリ	11,982	14,413	▲ 2,431
徳島	コシヒカリ	12,251	14,947	▲ 2,696
徳島	あきさかり	11,021	12,059	▲ 1,038
香川	コシヒカリ	13,386	15,406	▲ 2,020
香川	ヒノヒカリ	12,544	14,866	▲ 2,322
香川	おいでまい	13,269	15,406	▲ 2,137
愛媛	コシヒカリ	13,987	15,456	▲ 1,469
愛媛	ヒノヒカリ	12,840	14,837	▲ 1,997
愛媛	あきたこまち	12,995	14,775	▲ 1,780
高知	コシヒカリ	13,562	15,530	▲ 1,968
高知	ヒノヒカリ	13,062	14,436	▲ 1,374
福岡	夢つし	14,726	16,322	▲ 1,596
福岡	ヒノヒカリ	13,136	15,430	▲ 2,294
福岡	元気つくし	14,599	16,169	▲ 1,570
佐賀	夢しずく	13,244	14,453	▲ 1,209
佐賀	さがびより	14,058	15,106	▲ 1,048
佐賀	ヒノヒカリ	11,817	14,266	▲ 2,449
長崎	ヒノヒカリ	13,732	14,802	▲ 1,070
長崎	にこまる	14,038	15,090	▲ 1,052
長崎	コシヒカリ	14,975	15,891	▲ 916
熊本	ヒノヒカリ	13,298	15,410	▲ 2,112
熊本	森のくまさん	13,341	15,056	▲ 1,715
熊本	コシヒカリ	15,048	16,257	▲ 1,209
大分	ヒノヒカリ	13,143	15,335	▲ 2,192
大分	ひとめぼれ	13,844	15,258	▲ 1,414
大分	つや姫	13,749	15,391	▲ 1,642
宮崎	コシヒカリ	14,135	15,292	▲ 1,157
宮崎	ヒノヒカリ	15,471	15,960	▲ 489
鹿児島	ヒノヒカリ	13,860	16,595	▲ 2,735
鹿児島	あきほなみ	14,937	17,073	▲ 2,136
鹿児島	コシヒカリ	14,702	16,323	▲ 1,621
全銘柄平均価格		12,851	14,529	▲ 1,678

注1:農林水産省が調査・公表した出回りからの年産平均価格(令和3年産は令和4年6月までの速報値)であり、調査対象事業者は、一定規模以上の集荷業者(年間の販売数量5,000トン以上等)。
 2:運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。なお、令和元年10月以降は、軽減税率の対象である米穀の包装代などの品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
 3:「－」については、当該年産において報告対象としていない産地品種銘柄又は取引数量の累計が100トン未満であり、公表を行っていないもの。

(参考) 令和2・3年産米のスポット価格の推移(令和4年7月25日時点)

- 令和3年産のスポット価格については、2年産の出来秋に比べ、低い水準で取引がスタートしたが、10月中旬以降、一部銘柄を除いて、回復基調で推移。
 - 令和4年6月以降は、3年産米の契約が進展している中で、品薄感の強い銘柄を中心にさらに上昇傾向で推移。
- (参考) スポット取引：主に中小規模の卸売業者間で行う、10トン～数十トン程度の小ロットの売買。



注：スポット価格は、米穀データバンク発行「日刊・米穀市況速報」（関東相場、東京着地基準、下限値、税抜）の価格を農林水産省が税込に加工。

ふるさと納税返礼品用販売数量及びインターネット等通信販売数量の状況について

- 近年、主食用米の流通経路が多岐に亘る中で、ふるさと納税返礼品用の販売及びインターネット等通信による販売の実態把握を目的として、集荷業者・販売業者を対象に令和元～3年度の実績を調査。
- 令和3年度におけるふるさと納税返礼品用の販売は2.5万トン、インターネット等通信による販売は9.0万トンとなっており、いずれも近年増加傾向で推移。
- ふるさと納税返礼品用の販売及びインターネット等通信による販売を合わせた数量の約12万トンは集荷業者を通じて取引される米の流通量の約3%。

【調査の概要】

調査対象者 : 米穀の出荷又は販売事業者のうち、玄米の取扱数量が年間500トン以上の事業者（約1,300事業者）
調査対象期間 : 令和元年度～令和3年度
調査内容 : ふるさと納税返礼品用の販売及びインターネット等通信による販売に係る年間販売数量

【調査結果】

○ ふるさと納税返礼品用販売数量

（単位：玄米トン）

	販売数量 ※1・2	うち出荷業者	うち販売業者
令和3年度	25,200 ※3 (+18%)	11,100 (+7%)	14,100 (+29%)
令和2年度	21,300 (+60%)	10,400 (+100%)	10,900 (+35%)
令和元年度	13,300	5,200	8,100

○ インターネット等通信販売数量

（単位：玄米トン）

	販売数量 ※1・2	うち出荷業者	うち販売業者
令和3年度	89,800 ※3 (+11%)	7,100 (-9%)	82,700 (+14%)
令和2年度	80,600 (+19%)	7,800 (+37%)	72,800 (+17%)
令和元年度	67,700	5,700	62,000

（参考）過去に実施したふるさと納税返礼品用米穀に関する調査結果
（自治体を対象とした聞き取り調査）

	提供数量 （玄米トン） ※4・5・6	返礼品に米を 入れている 都道府県数 （A）	返礼品に米を 入れている 市町村数 ※7 （B）	返礼品に米を 入れている 自治体数 （A+B）	回答数
平成28年 （1～12月）	23,700	11	990	1,001	999
平成27年 （1～12月）	13,100	3	729	732	724

資料 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- ※1 販売数量は100トン未満を四捨五入
- ※2 販売数量のうち、精米販売分は玄米に換算（÷0.906）
- ※3 括弧書きは対前年比
- ※4 提供数量は100トン未満を四捨五入
- ※5 提供数量のうち、精米販売分は玄米に換算（÷0.906）
- ※6 提供数量はもち米を含む
- ※7 当時の全国の市町村数は1,718市町村（総務省公表値（平成26年4月5日時点））

水田における作付意向について（令和4年産第3回中間的取組状況（令和4年6月末時点））①

- 3年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、6月末時点では、減少傾向40県、前年並み7県、増加傾向0県。4月末時点と比べて、前年より減少傾向とした県が37県から40県へ増加。
- 減少傾向とした40県のうち、「1～3%程度減少傾向」は22県、「3～5%程度減少傾向」は15県、「5%超の減少傾向」は3県。
- 6月末時点での各県の作付意向を基に全国の主食用米の作付面積を試算すると、約4.3万ha減少する見込みであり、作付転換が必要な3.9万haを達成する見込み。
- 戦略作物については、米粉用米、飼料用米、WCS用稲、麦、大豆をはじめ、多くの品目で前年より増加傾向としている県が多い。

【令和4年産米等の作付意向（3年産実績との比較、令和4年6月末時点）】下段〔 〕は4月末時点の作付意向

	主食用米			戦略作物							備蓄米
				加工用米	新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 〔稲発酵粗 飼料用稲〕	麦	大豆	
前年より 増加傾向	0県 〔0県〕			18県 〔21県〕	24県 〔26県〕	27県 〔24県〕	45県 〔42県〕	42県 〔33県〕	26県 〔27県〕	31県 〔30県〕	6県 〔6県〕
前年並み	7県 〔10県〕			3県 〔5県〕	5県 〔4県〕	9県 〔10県〕	1県 〔3県〕	3県 〔12県〕	6県 〔7県〕	4県 〔4県〕	18県 〔19県〕
前年より 減少傾向	40県 〔37県〕	1～3%	22県	23県 〔18県〕	10県 〔9県〕	9県 〔11県〕	0県 〔0県〕	0県 〔0県〕	13県 〔11県〕	10県 〔11県〕	9県 〔8県〕
		3～5%	15県								
		5%超	3県								

注1：令和4年産の意向（前年より増加傾向、前年並み、前年より減少傾向）は、3年産実績との比較。
2：比較している主食用米の3年産実績は、令和3年11月統計部公表の主食用作付面積。
3：加工用米、新市場開拓用米、米粉用米、飼料用米、WCS用稲の3年産実績は、取組計画認定面積。
4：麦・大豆の3年産実績は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に関き取った面積（基幹作）。
5：備蓄米の3年産実績は、地域農業再生協議会が把握した面積。

水田における作付意向について（令和4年産第3回中間的取組状況（令和4年6月末時点））②

都道府県	主食用米			戦略作物												備蓄米	
	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)		加工用米		新市場開拓用米 (輸出用米等)		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)		麦		大豆	
		6月末時点 (今回公表)	4月末時点 (前回公表)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)	3年産実績	4年産意向 (対前年実績)
全国計	130.3万			47,641		6,748		7,632		115,744		44,248		101,760		85,484	
北海道	88,400	↘↘↘	↘↘↘	6,178	↗	1,066	↗	72	↗	6,513	↗	620	↗	35,215	↗	18,599	↗
青森	34,200	→	→	853	↗	283	↗	16	↘	7,701	↗	660	↗	578	↘	4,414	↗
岩手	46,200	↘↘	↘↘	1,196	↗	343	→	71	↘	4,683	↗	1,939	↗	3,310	↗	3,764	↗
宮城	61,000	↘↘↘	↘↘↘	581	↗	748	→	150	↗	8,076	↗	2,244	↗	1,892	→	9,175	↗
秋田	71,400	↘	↘	8,855	↘	296	↗	425	↘	3,903	↗	1,106	↗	170	↘	8,139	↗
山形	54,900	↘↘	↘↘	3,876	↗	285	↗	112	↗	4,628	↗	966	↗	73	↘	4,413	↗
福島	54,700	↘↘	↘	397	→	38	↗	7	↗	10,038	↗	1,031	↗	273	↗	711	↗
茨城	61,400	↘↘	↘	1,135	↘	441	↗	43	↗	11,760	↗	571	↗	4,298	↘	423	↗
栃木	50,600	↘↘↘	↘↘↘	1,512	↗	93	↘	1,099	↗	12,482	↗	1,769	↗	6,866	→	343	↗
群馬	13,000	↘↘	↘	1,350	↗	4	↘	369	→	1,321	↗	539	↗	1,913	↗	102	↗
埼玉	28,800	↘↘	↘	118	↗	41	↗	912	↘	2,910	↗	116	↗	1,856	↗	341	↗
千葉	48,100	↘↘	↘↘	1,499	→	13	↗	84	↗	8,190	↗	995	↗	477	↘	281	↗
東京	120	→	→	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	2,920	→	→	-	-	-	-	-	-	10	↗	0	→	4	↗	6	↘
新潟	101,800	↘	↘	7,097	↗	1,497	→	2,145	↗	3,768	↗	400	↗	139	↗	3,745	↗
富山	32,200	↘	↘	1,215	↘	416	↘	178	↗	1,952	↗	453	→	2,999	↗	3,446	↗
石川	21,400	↘↘	↘	386	↗	81	↘	350	↗	1,389	↗	99	↗	927	↗	896	↗
福井	22,500	↘↘	↘	348	↘	156	↘	196	↘	1,490	↗	97	↗	4,732	↗	114	↘
山梨	4,760	↘	↘	76	↘	-	-	12	↗	18	↗	15	↗	57	→	98	→
長野	30,400	↘	↘	615	↗	158	↗	18	↗	362	↗	215	↗	2,385	↗	534	↗
岐阜	20,700	↘↘	→	616	↘	73	↘	48	↗	3,009	↗	208	↗	3,445	↗	378	↘
静岡	15,200	→	→	140	↘	1	↘	2	↗	1,075	↗	297	↗	256	↘	45	↘
愛知	25,800	↘	↘	421	↗	37	↗	53	↗	2,086	↗	156	↗	5,317	→	95	↗
三重	25,900	↘	↘	197	↘	37	↘	91	→	2,043	↗	268	↗	6,693	↗	316	↘

(注1) 主食用米の「4年産意向(対前年実績)」は、3年産実績と比較し、「→: 前年並み」、「↘: 1～3%程度減少傾向」、「↘↘: 3～5%程度減少傾向」、「↘↘↘: 5%超の減少傾向」で分類。
(注2) 戦略作物及び備蓄米の「4年産意向(対前年実績)」は、3年産実績と比較し、「↗: 増加傾向」、「→: 前年並み」、「↘: 減少傾向」で分類。
(注3) 主食用米の「3年産実績」は、3年11月統計部公表の主食用作付面積。
(注4) 加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「3年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「3年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積(基幹作)。
(注5) 備蓄米の「3年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

水田における作付意向について（令和4年産第3回中間的取組状況（令和4年6月末時点）） ③

都道府県	主食用米			戦略作物												備蓄米	
	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）		加工用米		新市場開拓用米 （輸出用米等）		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 （稲発酵粗飼料用稲）		麦		大豆	
		6月末時点 （今回公表）	4月末時点 （前回公表）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）	3年産実績	4年産意向 （対前年実績）
滋賀	28,900	↘	↘	644	↘	203	↗	58	↘	1,681	↗	277	↗	7,462	↗	468	→
京都	13,600	↘	↘	562	↗	15	↗	9	↗	101	↗	120	↗	256	↗	241	↗
大阪	4,620	↘	↘	0	↘	-	-	5	→	6	→	-	-	3	↘	6	↘
兵庫	34,100	↘	→	726	↘	163	↗	34	→	554	↗	866	↗	1,751	↗	1,833	→
奈良	8,400	↘	→	19	↘	0	→	30	↗	34	↗	40	↗	62	→	25	→
和歌山	6,100	→	→	-	-	-	-	1	→	2	↗	2	↗	3	↗	13	↗
鳥取	12,400	↘↘	↘↘	24	↘	5	↗	1	→	707	↗	338	↗	23	↗	599	↗
島根	16,500	↘	↘	303	↘	2	→	9	↘	779	↗	569	↗	263	↗	575	↗
岡山	27,900	↘	↘	316	↘	126	↗	124	→	1,730	↗	346	↗	1,260	↘	1,102	↗
広島	21,700	↘	↘	320	↗	21	↗	124	↗	424	↗	585	↗	309	↗	232	↗
山口	17,400	↘↘	↘	971	↘	2	↗	38	→	978	↗	313	↗	740	↘	750	↗
徳島	9,980	↘↘	↘	20	↗	41	↗	11	→	881	↗	217	→	56	↘	9	↘
香川	11,300	↘	↘	38	↗	1	↗	7	↗	139	↗	142	↗	1,138	↗	54	↗
愛媛	13,200	→	→	43	↘	-	-	2	↗	271	↗	159	↗	514	↘	315	↗
高知	11,000	↘	↘	68	↗	-	↗	17	↗	991	↗	263	↗	4	↗	59	↗
福岡	34,100	↘	↘	228	↘	8	↗	327	↗	2,192	↗	1,657	↗	1,583	↘	7,830	↘
佐賀	22,800	↘	↘	383	↗	4	↗	29	↗	730	↗	1,700	↗	948	↗	6,929	↘
長崎	10,800	↘	↘	10	↘	3	↗	5	↘	112	↗	1,307	↗	70	→	295	↘
熊本	31,200	↘	↘	757	↘	21	↘	300	↗	1,295	↗	7,994	↗	775	↗	2,051	↗
大分	19,400	↘↘	↘	136	↘	-	-	15	↗	1,565	↗	2,432	↗	579	↗	1,242	↗
宮崎	13,900	↘↘	↘	1,926	→	26	↘	16	↗	486	↗	6,700	↗	18	↘	204	↗
鹿児島	17,100	↘	↘	1,451	↘	1	↗	11	↗	679	↗	3,451	↗	67	↗	272	↗
沖縄	623	→	→	37	↘	-	-	7	↘	-	↗	5	↗	-	-	-	-

（注1）主食用米の「4年産意向（対前年実績）」は、3年産実績と比較し、「→：前年並み」、「↘：1～3%程度減少傾向」、「↘↘：3～5%程度減少傾向」、「↘↘↘：5%超の減少傾向」で分類。
（注2）戦略作物及び備蓄米の「4年産意向（対前年実績）」は、3年産実績と比較し、「↗：増加傾向」、「→：前年並み」、「↘：減少傾向」で分類。
（注3）主食用米の「3年産実績」は、3年11月統計部公表の主食用作付面積。
（注4）加工用米、飼料用米、WCS用稲、米粉用米、新市場開拓用米の「3年産実績」は、取組計画認定面積。麦・大豆の「3年産実績」は、地方農政局等が都道府県再生協議会等に聞き取った面積（基幹作）。
（注5）備蓄米の「3年産実績」は、地域農業再生協議会が把握した面積。

コメ・コメ加工品の輸出実績

品 目 名		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年		(参考) 主な輸出先国	
							1～5月	対前年比		
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	28,685トン	32,226トン	35,531トン	36,569トン	45,959トン	20,154トン	+14%	香港 アメリカ 中国 台湾 シンガポール	
		金額	264億円	309億円	329億円	347億円	524億円	233億円		+23%
	コメ (援助米を除く)	数量	11,841トン	13,794トン	17,381トン	19,781トン	22,833トン	10,122トン	+16%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
		金額	32億円	38億円	46億円	53億円	59億円	26億円	+13%	
	米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,849トン	4,053トン	4,033トン	4,222トン	5,141トン	1,658トン	-20%	アメリカ 台湾 香港 サウジアラビア シンガポール
		原料米換算	3,272トン	3,445トン	3,428トン	3,589トン	4,370トン	1,409トン	-20%	
		金額	42億円	44億円	43億円	45億円	56億円	19億円	-12%	
	日本酒 (清酒)	数量	23,482 ㍴リットル	25,747 ㍴リットル	24,928 ㍴リットル	21,761 ㍴リットル	32,052 ㍴リットル	14,626 ㍴リットル	+19%	アメリカ 中国 香港 シンガポール 韓国
		原料米換算	13,226トン	14,502トン	14,041トン	12,257トン	18,054トン	8,238トン	+19%	
		金額	187億円	222億円	234億円	241億円	402億円	185億円	+30%	
	パックご飯等	数量	658トン	923トン	1,018トン	1,205トン	1,129トン	495トン	+7%	香港 アメリカ 台湾 ベトナム 中国
		原料米換算	346トン	485トン	535トン	634トン	594トン	260トン	+7%	
		金額	3億円	5億円	5億円	7億円	6億円	3億円	+11%	
	米粉及び米粉製品 (米粉麺等)	数量			118トン	249トン	88トン	101トン	+174%	アメリカ ドイツ タイ 台湾 イタリア
		原料米換算			146トン	308トン	108トン	125トン	+174%	
		金額			0.3億円	0.7億円	0.6億円	0.5億円	+98%	
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品		数量 (原料米換算)	12,187トン	14,279トン	18,062トン	20,723トン	23,535トン	10,507トン	+17%	香港 シンガポール アメリカ 台湾 オーストラリア
		金額	35億円	42億円	52億円	60億円	66億円	29億円	+14%	

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

注1：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。パックご飯等は2017年より、米粉は2019年より、米粉麺等は2020年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。

注2：米粉及び米粉製品のうち米粉製品の原料米換算は米粉100%として推計。

商業用のコメの輸出数量及び輸出金額の推移

- 2021年のコメの輸出数量は対前年比15%増の22,833トン、輸出金額は対前年比12%増の5,933百万円。

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年 (1～5月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+16%)	3,756 (+17%)	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	10,122 (+16%)	2,559 (+13%)
香港	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	3,622 (+1%)	850 (-2%)
シンガポール	2,861	642	3,161	694	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	2,140 (+8%)	422 (+5%)
アメリカ	986	320	1,282	404	1,980	543	1,989	565	2,244	625	1,172 (+45%)	331 (+46%)
台湾	943	350	1,173	394	1,262	411	2,004	622	1,907	575	795 (+13%)	228 (+12%)
オーストラリア	476	145	635	197	770	233	1,074	334	893	283	388 (+29%)	122 (+31%)
中国	298	97	524	211	1,007	363	1,002	321	575	219	329 (+95%)	96 (+37%)
タイ	192	51	320	81	578	145	555	145	625	162	399 (+71%)	97 (+60%)
イギリス	695	191	422	121	450	131	451	131	332	104	212 (+83%)	64 (+81%)
ロシア	78	31	120	43	174	64	199	72	227	79	72 (-20%)	29 (-7%)
フランス	61	27	78	32	93	40	112	49	173	72	77 (+108%)	33 (+68%)
インドネシア	72	26	1	2	90	25	4	3	247	72	— (-100%)	— (-100%)
カナダ	92	28	138	43	158	51	205	62	210	69	128 (+32%)	38 (+11%)
その他	959	276	1,250	374	1,504	440	1,512	431	1,490	531	788	247

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）

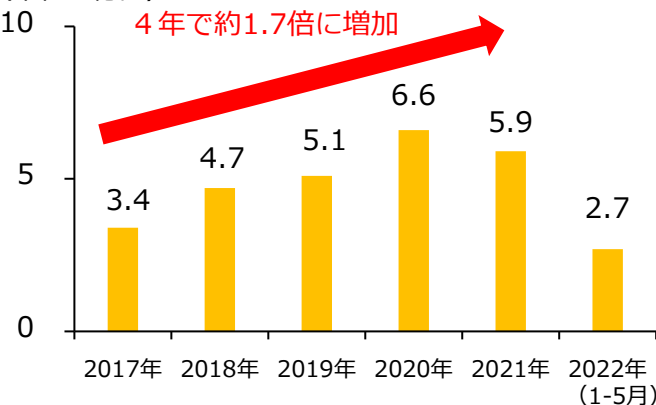
注1：（ ）内は対前年同期増減率である。

注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

パックご飯・米菓・日本酒の輸出実績の推移

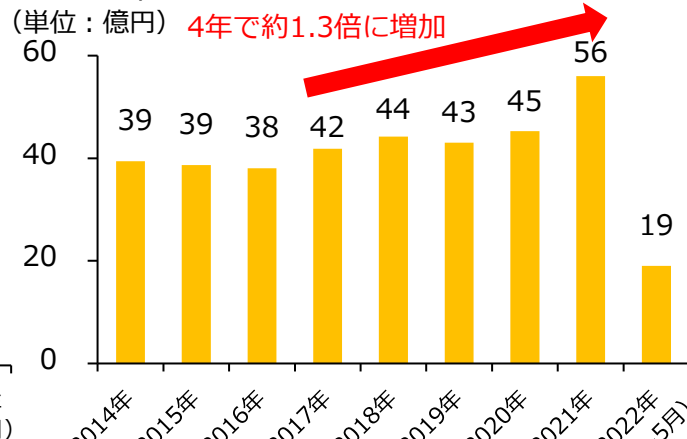
- パックご飯の輸出については、韓国向けが増加した一方、香港・中国向け等で減少し、2021年の輸出金額・輸出量はともに減少。
- 米菓の輸出については、アメリカ・台湾向け等が増加したこと等から、2021年の輸出金額・輸出量はともに増加。
- 日本酒の輸出については、中国・アメリカ向け等が大きく増加したこと等から、2021年の輸出金額も大きく増加。

● パックご飯の輸出実績
(単位：億円)



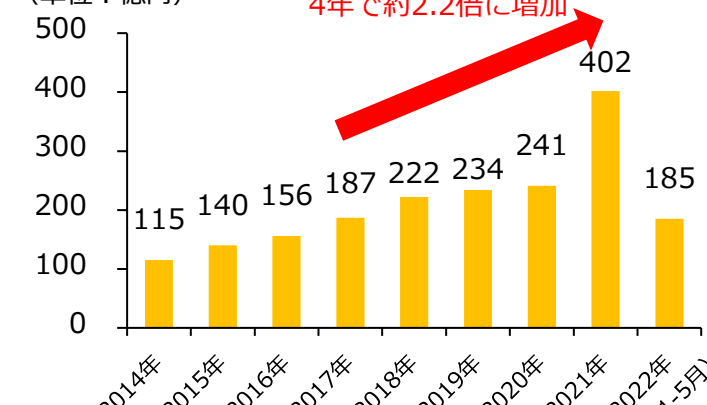
〔対前年同期比
+11%〕

● 米菓の輸出実績



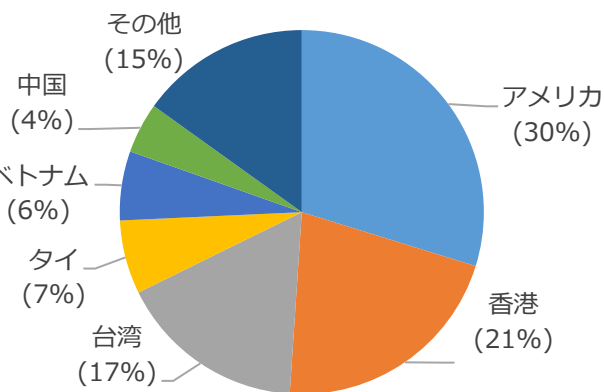
〔対前年同期比
-12%〕

● 日本酒の輸出実績
(単位：億円)

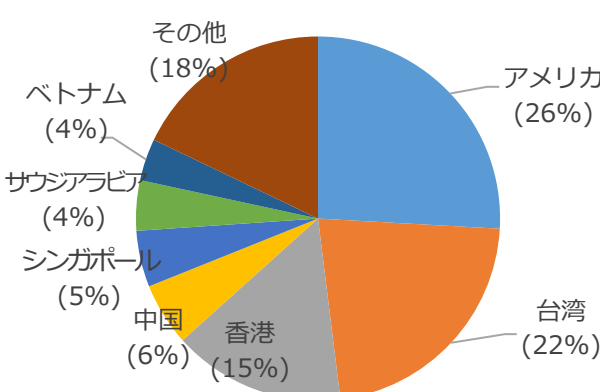


〔対前年同期比
+30%〕

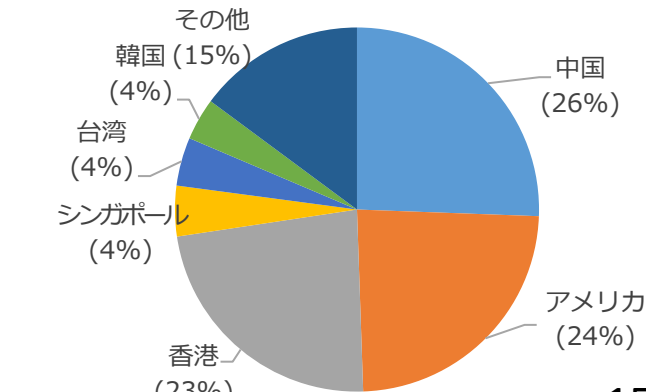
■ パックご飯の輸出先国内訳 (金額ベース) (2021年)



■ 米菓の輸出先国内訳 (金額ベース) (2021年)



■ 日本酒の輸出先国内訳 (金額ベース) (2021年)



※資料：財務省「貿易統計」

(注) パックご飯等は2017年より貿易統計にて輸出実績を集計・公表。